

# 滄水会ニュース

職業能力開発総合大学校同窓会誌  
 〒252-5196 神奈川県相模原市緑区橋本台4-1-1  
 職業能力開発総合大学校内 滄水会事務局  
 Fax : 042-763-9267  
 E-mail : sousuikai@uitec.ac.jp  
 URL : http://www.uitec.jeed.or.jp/ob/b/index.html



## 服部信治滄水会会長 就任挨拶

私はこの度、滄水会会長に就任いたしました10期の服部でございます。

さて、職業能力開発総合大学校が昭和36年に中央職業訓練校として創立されてから、昨年で50周年をむかえました。

現在、全卒業生は約1万名、長期課程を中心に組織された同窓会組織である滄水会の会員も約8,000名になっております。

この50年で日本も大きく変貌し、職業訓練の在り方も問われるなか、一昨年の事業仕分において大学校の存続が危ぶまれる場面もありましたが、関係者のご尽力で何とか残れる事となったことは卒業生のひとりとして大変喜ばしく思っております。

本大学校は平成25年の春、現在の相模原キャンパスから創立の地である小平キャンパスに移り、再出発することになりました。

私は1970年、当時の職業訓練大学校建築学科に入学し、卒業後は民間に就職いたしました。そして15年前、47歳のとき長年の夢であったマンションデベロッパーである株式会社アーバネットコーポレーションを設立し、大学で学んだ「科学、技術、技能」をベースとした機能性と、芸術性を融合したマンション、日本の住空間を豊かにするマンション創りに取り組んでおります。会社を設立して3年ほどは大変苦労いたしました。4年目にやっと第1号の自社開発のマンション事業に着手しその後順調に業績を伸ばすことが出来、設立10年目の平成19年3月に弊社の株式をジャスダック証券取引所に上場させることが出来ました。しかしその後のリーマンショック、東日本大震災と気が休まらない日々が続いております。

このたびの会長就任についても十分な時間が同窓会活動に取れるかどうか心配ではございましたが、副会長、学内理事の皆さんの協力をいただき、微力ながら精一杯務めたいと思います。

会長就任にあたり、まず名簿の整理に取り組みます。我々の大学は誠に小さな大学であります。それ故に卒業生同士の絆は他の大学には決して負けないと思います。この絆を十分に生かすためにも、早々に名簿整理の準備委員会を立ち上げたいと思います。そして小平キャンパスにおける学園祭にて、卒業生が集う2回目の「ホームカミングデー」につなげていきたいと考えています。

最後になりましたが、滄水会のますますの発展と、卒業生のご活躍とご健勝をご祈念いたしまして就任のご挨拶に代えさせていただきます。



服部信治滄水会会長  
 (建築科10期卒業)  
 (株)アーバネットコーポレーション代表取締役社長

## 藤井信之滄水会副会長 就任挨拶

私は昭和57年3月に溶接科(18期)を卒業しております。

その後、茨城県にありました職業訓練施設で4年間働かせていただきました。昭和61年4月からは職業訓練大学校溶接科助手としてお世話になり、以来26年間相模原の地で働かせて頂いております。その間に、大学校名は平成5年4月に職業能力開発大学校、平成11年4月に職業能力開発総合大学校に変わりました。所属学科名は平成7年4月産業機械工学科、平成16年4月機械制御システム工学科、平成21年4月機械システム工学科に変わり現在に至っております。機械系以外の卒業生の方々も同時期に工学科の再編があったことを覚えておられることと思います。

本年4月からは、小平キャンパスにおいて機械、電気、電子情報、建築の4専攻(定員80名)を有する総合課程(学士課程)がスタートしております。

上記の様な大学校の移り変わりがあり、時の流れを感じないわけにはいかない昨今です。

この思いについては、職業大から遠く離れ生活されている卒業生の方々も同じではないかと思えます。平成24年度をもって相模原キャンパスは閉鎖されることになっております。今年度中に一度相模原キャンパスに足を運んでみてはいかがでしょうか。相模原キャンパスを訪れた際には、木々の成長に驚かされることと思えます。そしてキャンパスに存在する施設が当時の想いを呼び起こし懐かしく感じることと思えます。

最近、卒業生の方々から以下のような質問を度々頂くようになりました。(1)「小平での授業は、いつから始まるんですか」、(2)「いつ引越しをするんですか」、(3)「相模原キャンパスの跡地はどうなるんですか」。これらの質問に対しては以下のように答えております。

「小平にはすでに1年生がおりますので、この4月から1年生の授業は小平で行われています。そして2、3、4年生の授業が相模原で行われています。平成25年2月に移転作業が始まり3月終了予定、4月からは長期課程(3、4年生)と総合課程(1、2年生)の授業が小平キャンパスで実施されます。跡地の利用については、「正式なことは何も聞いていませんし知りません。新聞には、リニア中央新幹線(2027年開業予定)の駅が橋本駅近郊に建設される予定で、そこに住んでいる人たちの代替地候補としてキャンパス跡地が取り上げられていました。相原高校の移転もあるのかも知れませんが」と同じ答えを繰り返しております。

今後、移転に関して様々な問題が生じると思われます。何卒ご協力の程お願い申し上げます。



藤井信之滄水会副会長  
 (溶接科18期卒業)  
 職業能力開発総合大学校  
 機械システム工学科教授

## 平成23年度卒業式・修了式・滄水会賞授与式

平成24年3月22日神奈川県相模原市緑区にある「杜のホールはしもと」で平成23年度 職業能力開発総合大学校卒業・修了証授与式が挙行されました。

長期課程205名、研究課程工学研究科17名、専門課程(指導員訓練)15名の計237名に卒業・修了証書が授与されました。

来賓には、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長、厚生労働省審議官などにご臨席くださり、ご祝辞を賜りました。

滄水会からは服部会長と小路副会長が出席し、会長から、希望に溢れ旅立って行く学生への祝辞と滄水会賞が授与されました。

受賞者のみならず、すべての卒業・修了生のご活躍と社会への貢献を、滄水会会員一同心より祈念しております。

平成23年度に滄水会賞を受賞した卒業生を代表して、吉本真理さん(47期卒)に、「滄水会賞を受賞して」というタイトルで寄稿して頂きました。

### 滄水会賞を受賞して

47期 吉本真理



この度、滄水会賞を受賞することができ、大変光栄に思います。特に、大学生活最後の1年を同じ研究室で共に実験に取り組んだスゥン セイン君と一緒に受賞出来たこと、心から嬉しく思います。

大学での4年間を振り返ってみると、後悔することも多いですが非常に充実したものであったと思います。科での建築に関する講義、実習に加え、能力開発科目などの中身の濃い授業や、全国各地から集まった同輩や留学生と親睦を深めるなど、職業大でしか味わえないであろう貴重な経験を積むことが出来ました。

現在、私は大分職業訓練支援センターで窓口業務OJTに就いています。まだまだ分からない事ばかりですが、早く役に立つ職員となれるよう日々邁進していきたいです。

### 長期課程から総合課程へ 平成24年度 総合課程入学式

職業能力開発総合大学校では、キャンパスを東京都小平市に統合するとともに、職業能力開発の中核機関(COE)として再発足することとなりました。

そこで「ものづくりプロセス技術者」を体系的に育成する「総合課程」を新設しました。

総合課程は、4専攻(機械、電気、電子情報、建築)で構成され、卒業生は次世代のものづくり現場をリードできる人材となることが期待されます。卒業時には、我が国初で唯一の学士名称である「学士(生産技術)」が授与されます。この新設された総合課程の入学式が、平成24年4月4日東京都小平市にある「ルネ小平」にて挙行されました。多くのご来賓の方々にご臨席を賜りました。また、滄水会からは服部会長、小路副会長が出席しました。



## 創立50周年記念式典・懇親会・ホームカミングデー

平成23年に職業能力開発総合大学校は創立50周年を迎えました。これに先立ち大学校内に50周年記念事業組織委員会が設置され、記念事業に関して検討が行われました。委員長である校長から滄水会会長に、記念事業への協力依頼があり理事会にて検討した結果、記念式典での記念講演会とホームカミングデー開催について全面的に協力することが決定されました。

滄水会総会が開催された同日に記念式典が開催され、滄水会会員、一般市民ら520名が参加し執り行われました。この式典の中で開催された滄水会主催の特別講演会には、プロスキーヤーの三浦雄一郎氏を講師に迎えました。同夕刻には大学校にて懇親会が開催され、滄水会会員ら145名の方々にご参加頂きました。また懇親会にはご講演を頂いた三浦氏、機構の丸山理事長にもご参加頂き、懇親を深めて頂きました。

11月には大学祭に合わせてホームカミングデーが開催され、142名の滄水会会員にお集まり頂き、楽しい一時を過ごして頂きました。

簡単ですが、職業能力開発総合大学校創立50周年記念事業への滄水会の取り組みについてご報告をさせていただきます。

最後に、50周年記念事業にご協力頂きました多くの滄水会会員の皆さま、またこれら事業の企画・実施にあたり滄水会理事の皆さまにはたいへんご尽力を頂き、深く感謝いたします。  
(前滄水会副会長 菅野恒雄)

平成23年11月12日にホームカミングデーを開催しました。ホームカミングデーは、懐かしの職業大のキャンパスにおいて、職業大の近況に触れ、懐かしい恩師や友人と再会、交流いただくイベントです。職業大創立50周年記念事業の一環として、滄水会と職業大との共同で開催しました。この日は、能開祭(学園祭)初日ということもあり、この日のために遠方からいらっしゃった方も多数見られました。

はじめに滄水会会長あいさつ、つづいて職業大校長あいさつがあり、職業大の近況報告がなされました。その後、懐かしの職業大紹介ビデオが上映され、1972年の紹介ビデオには、小平キャンパスで学ぶ学生や建設中の相模原キャンパスが映し出され、つづく1993年や2000年の紹介ビデオには、若かりし頃の先生方の姿が数多く登場し、場内にはときおりどよめきや笑いが響きました。その後のティーパーティーでは、懐かしの友人や先生など様々な方との再会で、じっくり語りあう場となり、途中、模擬店を出店している在校生が移動販売に訪れ、異なる世代間の交流は、さらにぐっと深まりました。

今回のホームカミングデーでは、同じ大学で学んだことが作り出す親近感、そして同窓であることがきっかけとなり人の輪が広がることを再認識できたように思います。はじめてのホームカミングデーではありましたが、晴れ渡る秋空の下、同窓生・先生と一緒に充実した時を過ごしたステキなイベントとなりました。



創立50周年記念式典



ホームカミングデー

### “在校生から”平成24年度の学園祭のご案内

**【日時】 平成24年11月3日(土)～11月4日(日)**

**【場所】 職業大(神奈川県相模原市緑区橋本台4-1-1)**

**【内容】 模擬店、各種イベント、ゲーム大会、フリーマーケットなど予定**

**【コメント】**今年度をもって小平キャンパスへ移転することから、今回が相模原キャンパスで行う「最後の学園祭」となります。これまで職業大を支えてくださった多くの方へ感謝の気持ちを込め、実行委員会一同大いに盛り上げ、職業大らしい楽しい学園祭にしたいと思っています。ぜひ、「学園祭へご参加」いただきますようお願いいたします。プレゼントを用意してご来場お待ちしております。受付でOBであると声かけをお願いします。また、卒業生の皆さま

まにお願いするのは大変恐縮するのですが、より充実した学園祭実施および例年より多くのポスター配布をするために「奨励金」のご支援をいただきますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

職業能力開発総合大学校 学園祭実行委員長 盛田友和  
(機械システム工学科 2年)

**【奨励金の振込】 金額 一口 5,000円(何口でも可) 口座番号 ゆうちょ銀行 00240-0-73077**

**名義人 職業能力開発総合大学校学祭実行委員会**

**通信欄に氏名の記入をお願いいたします。平成24年8月末まで。**

## 世界各国で活躍する職業大の卒業留学生を知っていますか？（中国編：学術分野）

長期課程（4年課程）における外国人留学生受入事業は中国（1980年～1992年）から始まり、シンガポール（1981年～1989年）が続いた後、平成14年（1992）年10月から日本国政府による国費外国人留学生受入事業となり、募集対象国から毎年受け入れてきました。

これまでに約250名が卒業し、主に出身国の労働省等に就職していますが、その他政府の高官、大学教授、企業の創業者等になって世界各国で活躍しています。ここでは、中国からの卒業留学生のご活躍（学術分野）を紹介します。

### 単 齋翔（單霽翔）

長期課程在学期間 S55～S59（建築科20期生）

- ・中華人民共和国 故宮博物院 院長
- ・国家文物局 局長（2002年～2012年）
- ・中華文化交流協会会長

### 張 勇兵

長期課程在学期間 S55～S59（電気科20期生）

- ・筑波大学 システム情報工学研究科 教授
- ・インターネット及びモバイル通信等の分野が専門

### 加藤 寧（孫寧）

長期課程在学期間 S57～S61（電子科22期生）

- ・東北大学 大学院情報科学研究科 教授
- ・米国電気電子学会（IEEE）  
衛星・宇宙通信技術専門委員会の委員長  
アドホック&センサーネットワーク技術委員会副委員長
- ・電子情報通信学会 衛星通信研究会専門委員会委員長

### 周 立波

長期課程在学期間 S57～S61（機械科22期生）

- ・茨城大学 知能システム工学科 教授
- ・精密工学、微細加工（マイクロ・ナノ加工技術）が専門

## 事務局だより

### ●住所変更等のお願い

会員の皆様の住所変更等がございましたら、滄水会事務局までご連絡をお願いいたします。

住所変更方法は、同封しております会員調査票（<http://www.uitec.jeed.or.jp/ob/b/04/06/index.html>）に記載の上、滄水会事務局までFAX（042-763-9267）をして頂くか、e-mail

にて [sousukai@uitec.ac.jp](mailto:sousukai@uitec.ac.jp) 宛に、ご送付願います。ご不明な点などがございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

また、近い将来、滄水会名簿の発行を予定しています。名簿整理にご協力いただける方、事務局までメール（[sousukai@uitec.ac.jp](mailto:sousukai@uitec.ac.jp)）をいただきますようお願いいたします。

### ●終身会費納入のお願い

滄水会の活動は、卒業時に徴収される終身会費と次項で述べる維持寄付で運営されています。事務局では経費削減に努めておりますが、会員数の増加に伴い、通信連絡費・印刷費などが増加しており、会をスムーズに維持していくことが困難な状況となっております。

おります。卒業時に終身会費をお納めいただいております方には、滄水会ニュースと共に払込取扱用紙を同封しました。滄水会維持発展にご協力くださいますようお願い申し上げます。

### ●維持寄付のお願い

滄水会では、会員資格20年ごとに滄水会維持発展のために維持寄付をお願いしております。20年目の節目に、是非、滄水会を盛り上げていただきたく、ご寄付をお願い申し上げます。勝手ながら、維持寄付依頼対象者は「1991年（平成3年、27回卒業）の会員までの方」となっております。該当の会員には払込取扱用紙を同封いたしましたので、次の要領で払い込みくださいますようお願いいたします。

維持寄付金：一口 5,000円

（できるだけ2口以上でお願い申し上げます）

払い込み方法：同封の払込取扱用紙をご利用の上、最寄りの郵便局から払い込みください。

注意：「会費未納の方」で、かつ「維持寄付依頼対象者」には、2通の払込取扱用紙が同封されております。

発行：2012年7月 発行者：滄水会会長 服部信治

編集委員：藤井信之、萬野三男、菅野恒雄、山下陽一郎、松本和重、池田知純、田村仁志、宮崎真一郎、  
中谷 努、山崎尚志、塚崎英世

## 滄水会ニュース 第22号

〒252-5196 神奈川県相模原市緑区橋本台4-1-1  
職業能力開発総合大学校校内 滄水会事務局  
FAX:042-763-9267  
E-mail:sousukai@uitec.ac.jp  
相模原市が平成22年4月に政令指定都市に移行したために  
郵便番号、住所が変わっております。